

2月4日(水)～9日(月)

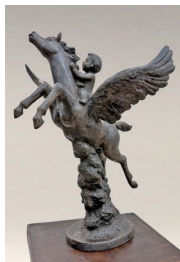
たまのせいぞう

玉野 勢三 彫刻展

—こころを形に 生命の輝きと歎び—

ブロンズ、テラコッタ、乾漆という異なる素材を操りながら、一貫して生きていることの美しさを表現されている玉野勢三先生。2メートルの大作に加え、微笑ましいこどもの姿の作品の数々が皆様をお迎えいたします。

「ペガサスの夢」
(高さ63cm(台座含))



高島屋大阪店6階美術画廊のご案内 2026 1・2月

2月4日(水)～9日(月) ※2月6日(金)、最終日は午後3時閉場

やまむらごりゅう

圓照寺門跡-大阪精華会 山村御流いけばな展

令和八年 大阪新春華展

令和八年初春 今年も 大阪高島屋でいけばな展を 開催させていただきます
おかげさまで本年六十一回目を迎えました

良い年でありますように 心をこめて 春を迎える草花たちを
表現したいと存じます

優しい植物とともにひと時をお楽しみいただければ一同の幸せでございます

ふれ 山村御流いけばな会



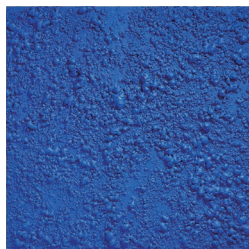
2月11日(水・祝)～16日(月)

さわだみつはる

沢田 光春 展

シュルレアリスムの重鎮ポール・デルヴォーのもとで親炙した唯一の日本人画家、沢田光春先生の5年振りの展覧会です。気迫漲る色彩とマチエール、超絶の技巧。本場ヨーロッパで鍛え抜かれ、功績に裏打ちされた「東洋のシュルレアリスム」と称される極上の絵画を存分に味わっていただきますようご案内申し上げます。

「青き泡」(130.3×130.3cm)



ふじむらしゅうじ

藤村 州二 作陶展

藤村先生は、近代数奇者として名高い川喜田半泥子が築いた窯を受け継ぎ、三重県津の地で作陶に勤まられています。半泥子の愛弟子である坪島玉平先生に師事した藤村先生は、確かな筆致で赤絵や染付などの美しい絵を描かれ、確かなロクロで茶盤や器をひいておられます。ぜひご覧ください。

左:「灰被伊賀四方入水指」(16.3×16.2×高さ18.0cm)

右:「赤絵椿文茶盤」(12.8×12.2×高さ7.9cm)



2月18日(水)～22日(日)

SINCE vol.V

100年にわたり多様な表現をもって今日性を世に問い、影響をもたらし続ける国画会。ここに集う11名はその理念である「創作の自由」を継承していく画家たちです。互いが自己研鑽を積み重ね、高め合いながら国画会の中核を担ってゆく彼らの“起点”となる展覧会をぜひご覧ください。

〈出品作家〉

麻田 征弥	肥沼 守	小西 千穂	嶋村 貴志	白石 一徳
堤 建二	長谷川 宏美	福室 千尋	宮本 薫	米田 貫雅
渡辺 夕里子				(敬称略・50音順)

ふるたにかずや

古谷 和也 作陶展

古谷先生は代々窯業に携わる家に生まれ、陶芸作家としては2代目にあたります。父の古谷道生先生は、穴窯の名手として広く知られた存在であり、先生自身もその技術や姿勢を受け継ぎながら、自らの道を探求しておられます。ぜひご覧ください。

「信楽壺」(口径35.5×高さ28cm)



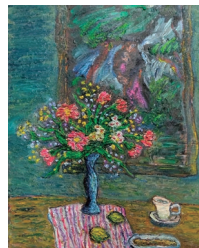
2月25日(水)～3月2日(月)

たかなみそうたろう

高波 壮太郎 展 —記憶—

このたび高島屋大阪店での37回目の個展を迎えられる高波先生。今回は、近年の作品に加え、50代に制作された数点も併せて展覧いたします。77歳となる今もお、創作への情熱は一層深まり、描くことこそが生きていく実感とする先生。絵具を幾重にも重ね、限界の先に潜む美の本質を追い求め続ける姿勢が作品に息づいています。ぜひご覧ください。

「La Vie en Fleurs」(30F)



かとうたかし

加藤 敬 作陶展

1973年陶芸家三代 加藤溪山先生の長男として京都に生まれ、大阪芸術大学を卒業。現在は京都の工房で制作しておられます。高島屋大阪店美術画廊での初めての展覧会です。彫を施した器をぜひご覧ください。

「線刻紋器 -縁-」(30×30×高さ45cm)



TAKASHIMAYA
2026 1・2月
Art Information
高島屋大阪店6階ギャラリーNEXTのご案内

2 4 16
WED MON

※2月10日(火)は開催いたします。

いま い さだ まさ

今井 完眞 陶展 -リアルファンタジー 其ノ式-



今井完眞先生は、1989年京都市に生まれた後、東京藝術大学で陶芸を学び、いきもの造形の分野で人気を集める気鋭の作家です。文化勲章受章者の陶芸家今井政之氏を祖父に、今井眞正氏を父にもち、幼少の頃からやきもの本質を学び、細部を緻密に表現する造形力は国内外で高い評価を受けています。初となる今展では、代表作である亀や蟹から招き猫、達磨まで、リアルとファンタジーが交差する新作の数々を発表いたします。

「蟹」(33.6×33.0×高さ15.2cm)

2 18 3 2
WED MON

※2月24日(火)は全館休業日のため、閉場いたします。

てらうちまこと

寺内 誠 展 -まだ再生されていない音-



油彩という素材に改めて着目し、物質感や偶発性によってできるマチエールを意識的に取り入れて制作される作品は油絵の概念を覆します。目の前の景色を手がかりに見えない世界を手繰り寄せ、そこに漂う不可視の輪郭を描き出す寺内誠先生の高島屋での初個展となります。

「音溝-循環-」(33.3×33.3cm)